

クレジットカード会社からスマートフォンへ、「顧客情報の確認」というショートメッセージが届いた。添付のURLを開き、指示通りに住所やカード番号などを入力した。その後、身に覚えのない5万円の請求があった。不正利用だと思うので取り消してほしい。

(30 歳代 男性)

カード不正利用被害のほとんどがカード番号などの情報を盗まれたもので、対策は社会的にも大きな課題となっています。通販サイト、カード会社、宅配便事業者などの実在する組織をかたるメールやショートメッセージを送信し、パスワードやカード番号などの個人情報を入力させ、盗み取る手口が見受けられます。カード会社やコード決済事業者には、取引の際に取得したカード番号の保護などが義務付けられていますが、消費者も自身のカード番号を守る対策が必要です。

普段よく利用するサイトやアプリ事業者名でのメッセージでも、記載されたURLに安易にアクセスせずに、公式のアプリやホームページから確認することを習慣づけましょう。携帯電話事業者各社から提供されている、迷惑メールを防ぐセキュリティサービスの活用も有効です。

また、通販サイトやSNSなど、複数のサービスで同じパスワードを使い回すのはやめましょう。万が一情報が第三者に漏れた場合、複数のサービスで被害に遭う危険性があります。詐欺サイトなどにカード情報や暗証番号を入力したまま放置すると、不正利用されてしまう状態が続いてしまいます。正規事業者以外の不確かなところから発信されたメールなどに重要な情報を入力してしまったことに気付いた時は、すぐにカード会社に相談しましょう。

不正利用を早期に発見するためにも、カードの利用明細は必ず確認するようにしましょう。また、万が一に備えてカードや携帯電話のキャリア決済の利用限度額を見直しすることも大切です。困ったときにはお住まいの自治体の消費生活相談窓口の電話番号「188」にご相談ください。